



平成26年3月期 第1四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成25年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 ヒラキ株式会社

コード番号 3059

URL <http://company.hiraki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 向畑 達也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 今本 清治

TEL (078) 967-4601

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	5,322	△10.1	238	△30.5	310	17.8	194	11.8
25年3月期第1四半期	5,919	△5.2	343	△20.6	263	△27.2	174	△17.0

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期209百万円 (81.7%) 25年3月期第1四半期115百万円 (△38.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	39 86	—
25年3月期第1四半期	36 15	35 80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	18,362	4,739	25.8
25年3月期	16,095	4,579	28.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 4,739百万円 25年3月期 4,579百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10 00	—	10 00	20 00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	10 00	—	10 00	20 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,300	△2.4	300	5.4	230	61.8	120	32.8	24 59
通期	21,000	1.7	700	19.0	600	12.5	330	0.6	67 61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社(社名) 除外 ー 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期第1Q	5,155,600株	25年3月期	5,155,600株
② 期末自己株式数	26年3月期第1Q	274,600株	25年3月期	274,600株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期第1Q	4,881,000株	25年3月期第1Q	4,815,129株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日)におけるわが国経済は、輸出環境の改善や経済対策、金融政策の効果などを背景に、緩やかな持ち直しの動きがみられました。しかしながら、靴業界におきましては、依然、消費者の節約志向が続いており厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、強みである「靴」を中心とした「商品力の強化」、そして「商品力」を売上へとつなげる「現場力の強化」に継続して取り組み、事業展開を進めてまいりました。

通信販売事業におきましては、引き続き、自社開発商品に対する社内での評価体制の強化、ディスカウント店舗との情報共有による売れ筋情報の収集機能の強化、顧客購入分析の徹底、さらに生産体制(協力工場管理)の強化を通じて「商品力の強化」に取り組みました。また、4月から商品開発・販売促進・商品管理の各業務を一体化させた組織変更を実施し、企画開発からカタログづくりまでの一連のプロセスを、スピード感をもって取り組む体制とし、「驚き・楽しさ・満足感」を実感して頂ける新商品を順次投入いたしました。具体的には、メッシュ素材を用いた通気性に優れ、軽量感あふれる新感覚の『499円メッシュバレエシューズ』が4月の販売開始から既に5万足近い支持を得ているほか、柔らかい伸縮素材で足にフィットし、街中から水辺でのレジャーまで幅広く使えるマリンシューズタイプの『714円 スニーカー』を子供から大人までフルサイズにわたり展開いたしました。また、涼感素材によるナチュラル感を追求した『499円 レディースカジュアルシューズ』も引き続き支持を頂き、2月の発売より15万足の販売数となりました。

ディスカウント事業におきましては、岩岡店では「日本最大級の靴売場」、各支店では「圧倒的な地域一番の靴売場」を目指し、靴を中心としたバラエティ・ディスカウント・ストアとして競合店との差別化を引き続き進めることとし、従来から取り組んでいる低価格帯商品から高価格帯商品まで取り揃えた価格帯別商品構成の充実に加え、4月からは圧倒的な安さを実現した自社開発商品の拡充に取り組み、依然続く節約志向を背景に、靴、衣料、日用雑貨において販売強化を進めてまいりました。また、『特価大商談会』の定期的な開催、および新規仕入先の開拓についても継続的に取り組み、収益性の改善に努めてまいりました。

卸販売事業におきましては、前期より再開した靴販売店向けカタログ『大卸』の配布先を大幅に増加し、更なる収益性の確保を図りながら量的拡大に向けての取り組みを強化いたしました。

このような取り組みにもかかわらず、通信販売事業での有効顧客数の低迷、および不採算店舗であった氷上山南店を昨年10月末に閉店したことによる売上高の減少が影響し、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は53億2千2百万円(前年同四半期比10.1%減)となりました。

利益面につきましては、通信販売事業を中心に更なるローコストオペレーションの実施、ディスカウント事業における「仕入先政策の強化」による粗利益率の改善、不採算店舗の閉店による収益力の強化に取り組みましたが、売上高の減少を補うまでには至らず、当第1四半期連結累計期間における営業利益は2億3千8百万円(前年同四半期比30.5%減)、経常利益は為替差益などの影響により3億1千万円(前年同四半期比17.8%増)、四半期純利益は1億9千4百万円(前年同四半期比11.8%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、競争の激化に加え、気温上昇の遅れなど天候不順の影響もあり、売上高は28億1千万円（前年同四半期比9.8%減）となりました。利益面では、カタログ費用の削減、物流業務の効率化に引き続き取り組み、収益改善に努めましたが、売上高の減少が影響し、セグメント利益（営業利益）は3億2千8百万円（前年同四半期比27.5%減）となりました。

② ディスカウント事業

ディスカウント事業におきましては、氷上山南店の閉店の影響などにより、売上高は24億1百万円（前年同四半期比10.9%減。なお、閉店を除く既存店では3.7%減）となりました。利益面では、仕入先政策の強化や自社開発商品の拡販などによる粗利益率の改善、および不採算店舗であった氷上山南店の閉店などにより、セグメント利益（営業利益）は1千7百万円（前年同四半期は1百万円の損失）となり、収益性が改善いたしました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、靴販売店向けカタログ『大卸』の売上高が増加する一方、大口OEM販売先について取引が伸び悩んだことから、売上高は1億1千1百万円（前年同四半期比0.04%減）、セグメント利益（営業利益）は3百万円（前年同四半期比69.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産、負債および純資産の状況の分析）

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、23億1千5百万円増加し、109億5千3百万円となりました。これは、現金及び預金が28億1千3百万円増加し、商品が4億5千9百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、4千7百万円減少し、74億9百万円となりました。これは、建物及び構築物が5千3百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、22億6千7百万円増加し、183億6千2百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、4億5千1百万円増加し、47億6千9百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が3億4百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ16億5千5千万円増加し、88億5千3百万円となりました。これは、長期借入金が17億7百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、21億7百万円増加し、136億2千2百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、1億6千万円増加し、47億3千9百万円となりました。これは、利益剰余金が1億4千5百万円増加したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.7ポイント減少し25.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「財務活動によるキャッシュ・フロー」で得られた資金を、「投資活動によるキャッシュ・フロー」で使用した結果、前連結会計年度末に比べ20億1千3百万円増加し、43億5千3百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、8億4千1百万円(前年同四半期は3億8千6百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3億1千万円の計上、たな卸資産の減少5億1千6百万円、法人税等の支払額1億6千6百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、8億1千7百万円(前年同四半期は1千5百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出8億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、19億6千万円(前年同四半期は13億6千1百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入れによる収入26億円、長期借入金の返済による支出5億8千7百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在の状況を踏まえ、平成25年5月10日の決算短信にて発表しました平成26年3月期の業績予想を見直した結果、当該四半期において平成26年3月期の連結業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,342,805	5,156,730
受取手形及び売掛金	1,020,226	988,037
商品	4,512,870	4,053,393
未着商品	119,289	62,292
貯蔵品	17,029	16,866
その他	646,025	692,191
貸倒引当金	△20,598	△16,108
流動資産合計	8,637,649	10,953,403
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,736,140	3,682,814
土地	3,321,205	3,321,205
その他(純額)	220,625	221,204
有形固定資産合計	7,277,970	7,225,224
無形固定資産	38,273	42,019
投資その他の資産	141,116	142,131
固定資産合計	7,457,360	7,409,375
資産合計	16,095,009	18,362,778
負債の部		
流動負債		
買掛金	928,772	839,702
1年内返済予定の長期借入金	2,179,671	2,484,367
未払法人税等	176,527	151,279
繰延税金負債	57,463	36,670
賞与引当金	158,818	90,000
役員賞与引当金	—	1,800
ポイント引当金	34,448	34,761
その他	782,296	1,130,730
流動負債合計	4,317,999	4,769,311
固定負債		
長期借入金	6,889,255	8,597,237
退職給付引当金	90,902	95,771
環境対策引当金	13,568	13,568
資産除去債務	29,835	29,970
その他	174,208	116,947
固定負債合計	7,197,769	8,853,495
負債合計	11,515,768	13,622,807

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	2,758,136	2,903,872
自己株式	△143,552	△143,552
株主資本合計	4,214,026	4,359,762
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,680	4,588
繰延ヘッジ損益	355,619	365,644
為替換算調整勘定	4,913	9,975
その他の包括利益累計額合計	365,214	380,208
純資産合計	4,579,240	4,739,971
負債純資産合計	16,095,009	18,362,778

(2) 四半期連結損益計算書及び連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,919,867	5,322,645
売上原価	3,517,369	3,097,559
売上総利益	2,402,498	2,225,086
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	659,838	639,666
貸倒引当金繰入額	4,681	927
ポイント引当金繰入額	11,972	12,209
給料手当及び賞与	539,409	516,003
賞与引当金繰入額	93,501	90,000
その他	749,353	727,423
販売費及び一般管理費合計	2,058,757	1,986,230
営業利益	343,740	238,855
営業外収益		
受取利息	793	696
受取配当金	368	377
為替差益	—	35,414
デリバティブ評価益	—	58,647
その他	8,540	8,901
営業外収益合計	9,702	104,037
営業外費用		
支払利息	33,092	29,916
為替差損	56,803	—
その他	263	2,958
営業外費用合計	90,159	32,875
経常利益	263,283	310,017
税金等調整前四半期純利益	263,283	310,017
法人税、住民税及び事業税	119,955	144,990
法人税等調整額	△30,746	△29,518
法人税等合計	89,208	115,471
少数株主損益調整前四半期純利益	174,075	194,546
四半期純利益	174,075	194,546

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	174,075	194,546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,435	△92
繰延ヘッジ損益	△59,123	10,024
為替換算調整勘定	2,825	5,062
その他の包括利益合計	△58,733	14,994
四半期包括利益	115,342	209,540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	115,342	209,540
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	263,283	310,017
減価償却費	87,458	79,521
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,319	△4,489
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△66,148	△68,818
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,781	1,800
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	365	312
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,668	4,869
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△2,210	—
受取利息及び受取配当金	△1,161	△1,073
支払利息	33,092	29,916
為替差損益 (△は益)	30,593	△26,178
売上債権の増減額 (△は増加)	△114,443	32,881
たな卸資産の増減額 (△は増加)	274,876	516,635
仕入債務の増減額 (△は減少)	△162,576	△91,099
その他	312,080	253,900
小計	659,340	1,038,196
利息及び配当金の受取額	938	956
利息の支払額	△33,888	△31,491
法人税等の支払額	△240,346	△166,457
営業活動によるキャッシュ・フロー	386,043	841,203
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300	△800,300
有形固定資産の取得による支出	△14,649	△17,900
有形固定資産の売却による収入	—	600
投資有価証券の取得による支出	△538	△538
その他	20	337
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,467	△817,800
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△600,000	—
長期借入れによる収入	2,500,000	2,600,000
長期借入金の返済による支出	△509,324	△587,321
自己株式の取得による支出	△2,763	—
ストックオプションの行使による収入	25,850	—
配当金の支払額	△42,217	△43,084
その他	△10,205	△9,005
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,361,339	1,960,588
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29,319	29,632
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,702,594	2,013,624
現金及び現金同等物の期首残高	1,565,278	2,339,705
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,267,872	4,353,330

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,114,807	2,693,793	111,265	5,919,867	—	5,919,867
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,114,807	2,693,793	111,265	5,919,867	—	5,919,867
セグメント利益又は損失 (△)	453,388	△1,662	11,652	463,379	△119,638	343,740

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△119,638千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,810,224	2,401,202	111,218	5,322,645	—	5,322,645
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,810,224	2,401,202	111,218	5,322,645	—	5,322,645
セグメント利益	328,662	17,829	3,507	349,999	△111,144	238,855

(注) 1 セグメント利益の調整額△111,144千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。